



あ、おはよう
よく眠れた？

実は、あなたが飲んで
いた飲み物に
睡眠薬を混ぜさせて
もらったの



何でこんなことになってるのか
理解できないという顔をしてるわね



ごめんなさい…
あなたは別に何も悪くないのよ

私、ちよつと訳アリでね

定期的にストレス発散しないと
いろいろと問題が起きちゃうの

だから、これからあなたには
私のストレス発散に
付き合ってもらおうかなって



でも、安心して

ストレス発散って言うっても
暴力を振るったりはしないわ

ただ、私の足の匂いを
嗅いでもらうだけ



さっきまで、靴を履いていたから
すごく蒸れていると思うわ

それを嗅いだときの
あなたの反応が見てみたいのよ



あなたが私の足を嗅いで
つらそうにしている姿を見ることで
私はとても爽快な気分になるわ

何の罪もない赤の他人を
私の勝手な都合で追い詰めるのが
とても快感なの



そんな顔をしないでよ
私だって悪いと思っっているわ

でも、私のストレスが溜まりすぎると
この町にとって良くないことが起こるから…

これは仕方のないことなの…



だから、あなたにはこの町のために
私のストレス発散の
サポートをしてほしいのよ

ね...?
いいでしょう?!



え…ダメ？
協力してくれないの？

そっかあ…
じゃあ、しようがないね



あなたが誰もいない教室で
女子生徒の靴下の匂いを
嗅いでいたこと…

みんなにバラしちやおうかなあ…



あなたを選んだのにも
ちゃんと理由があるわ



あなたは足の匂いが好きという
特殊性癖を持っていたからよ

あなたが必死に教室で
女の子の靴下を嗅いでいたのを見たとき
ピンときいたわ



きっとあなたは私の
期待に応えてくれるって...

えいっ

おにゃっ

おんぞい
んぞい



だからこれは
私たち2人にとって
メリットがあると思わない？

どう…？
女の子のムレムレの足裏の感想は？
気持ちいいかな？



教室でコソコソと
靴下の匂いを嗅いで喜んでるような
阿良々木君に匹敵するほどの変態さんだもん

きつと喜んでくれてるよね？





!!!

クワッ!?

クワッ!

ああ、言い忘れてたけど
私のストレス発散に
付き合ってくれてる友人がいるの



うちの学校では
けっこう有名だから
知ってると思うけれど...

はじめまして
戦場ヶ原ひたぎです

今回は羽川さんのお手伝いとして
登場させてもらっているわ



突然ですが質問です

あなたはなぜいま私に
乳首をつねられているのでしょうか



3...2...1...

ブリーーーーーーッ
残念、時間切れ

でも、ただそこに居合わせただけで
こんなことに巻き込まれてしまった
可哀想なアナタに特別に答えを教えてあげる



羽川さんのストレスを軽減する方法…
それは彼女の奥底に眠る
「嗜虐心」をくすぐる必要があるわ

つまり、羽川さんはもっと
あなたの苦悶に満ちた表情を
見たがっているのよ



なので、私が乳首をつねっているのは
あなたの苦痛に歪む姿を
羽川さんに見せてあげたかったから
なのだけれど…

どうやら、あまり効果はないようね…



何か他の方法を考えないと…

…ん？

びびくっ びびくっ

さわっ



今、あなたビクビクってしたわよね？

私の指の爪が脇腹にあたった時から…



ふむふむ、なるほどなるほど…

少し趣向を変えましょうか





あなた、相当くすぐりに弱いよね

脇腹でこの悶えようなら、
脇の下をくすぐったら
どうなってしまふのかしら…？





試してみましよう

そおれ♪

ひんぐんっ



ドンピシャね
くすぐられる才能があるわよ
あなた

だって私いま
とっても楽しいもの



ずいぶんと
息が苦しそうだけれど大丈夫…？

羽川さんの足でも嗅ぐ？



さすが戦場ヶ原さん
私の心理を的確に読んでくるわね…

じゃあさっそくだけど
私の足の匂いを嗅いでもらおうかな♪

